

報第5号 デマンド型交通に関する検証結果について

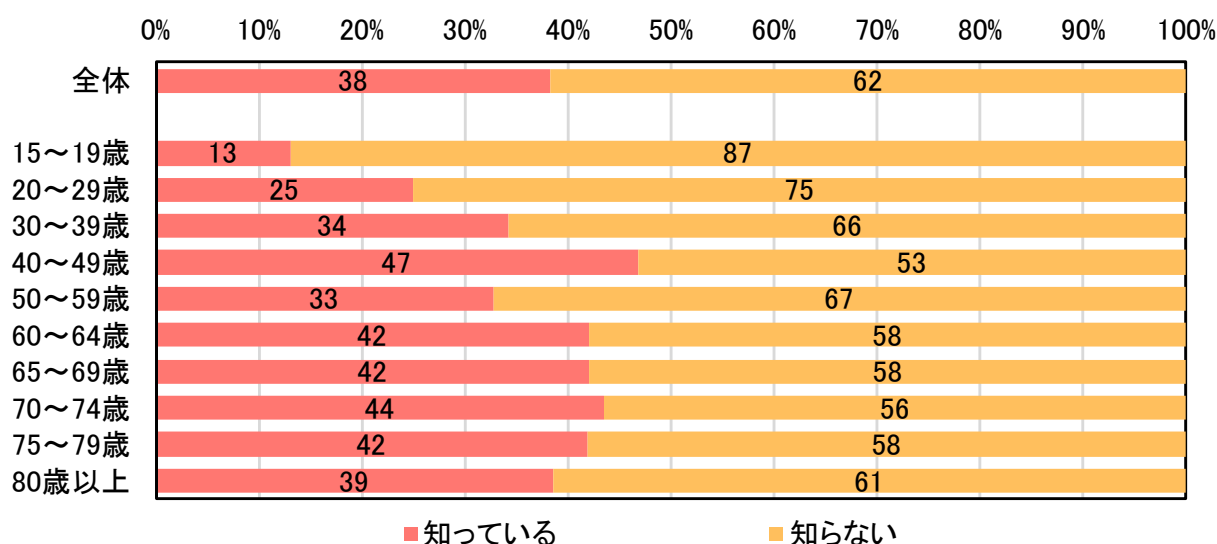
デマンド型交通アンケート結果

- 調査目的：デマンド型交通「mobi(モビ)」の実証実験の評価と今後の公共交通の新たな方式での運行について研究するための参考にするため、mobiの認知状況や利用状況、デマンド型交通に対する意見や要望等を把握
- 調査対象：15歳以上の羽島市民 2,500人(羽島市住民基本台帳から無作為抽出)
- 調査方法：郵送配布(令和7年2月20日(木)発送)・郵送回収・Web回答併用(3月12日(水)締切)
- 有効回答数：866票(郵送:621票/Web:245票) 回答率:34.6%

デマンド型交通「mobi(モビ)」について

実証実験の認知度

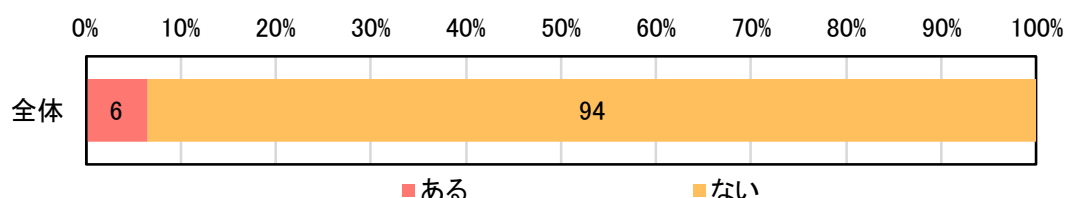
- ・ 実証実験を「知っている」は、全体の38%となっている。
- ・ 10代～20代の認知度が他の年代と比較して低い。



mobiの利用経験

※実証実験の認知度で「知っている」と回答した方のみ

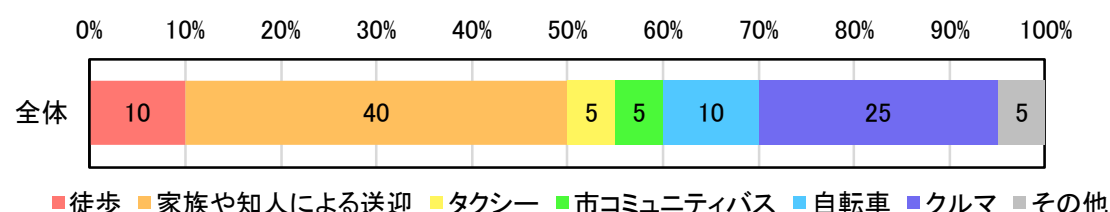
- ・ 利用経験が「ある」は、全体の6%にとどまっている。



mobi利用以前の移動手段

※mobiの利用経験で「ある」と回答した方のみ

- ・ 「家族や知人による送迎」が最も多く、全体の40%を占めている。

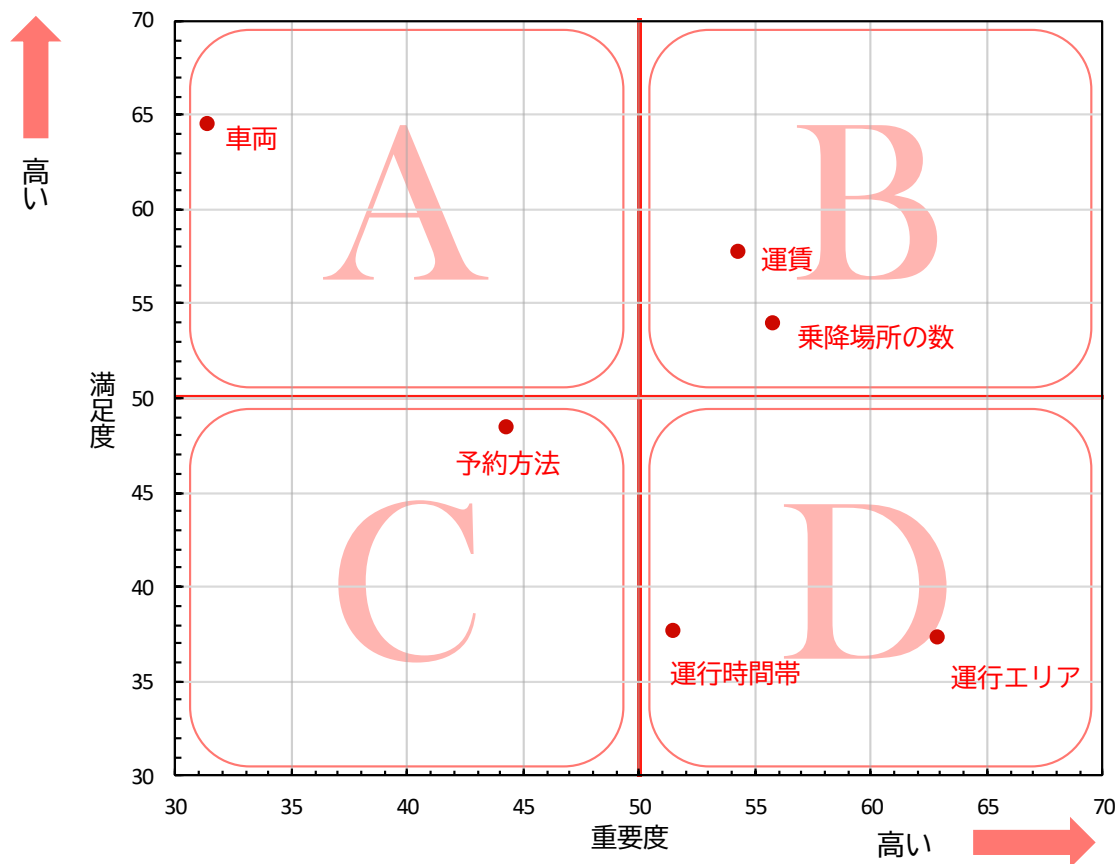


mobiに対する満足度と重要度

※mobiの利用経験で「ある」と回答した方のみ

各項目の満足度(1～6点)と重要度(1～3点)を点数化し偏差値を算出した。散布図の横軸を重要度、縦軸を満足度とし、「A:満足度が高く、重要度が低い」、「B:満足度が高く、重要度が高い」、「C:満足度が低く、重要度が低い」、「D:満足度が低く、重要度が高い」の4つの領域に分類した。

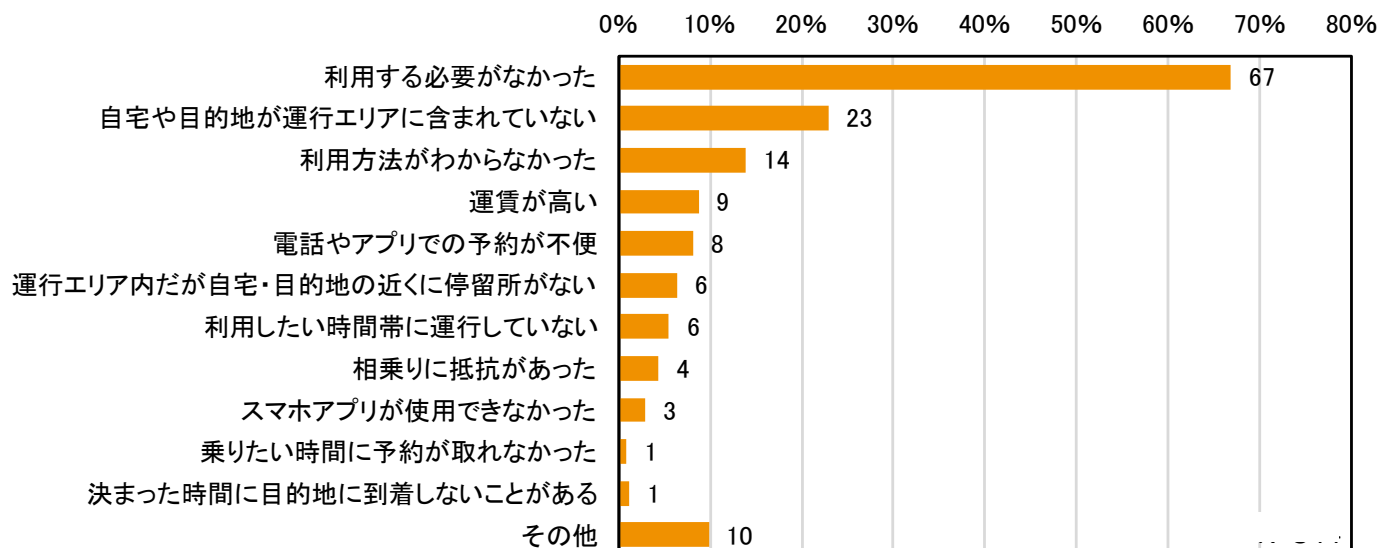
- 満足度が低く、重要度が高い項目(散布図の分類D)として、「運行エリア」と「乗降場所の数」が挙げられており、今後改善が求められる項目と考えられる。



mobiを利用しない理由

※mobiの利用経験で「ない」と回答した方のみ

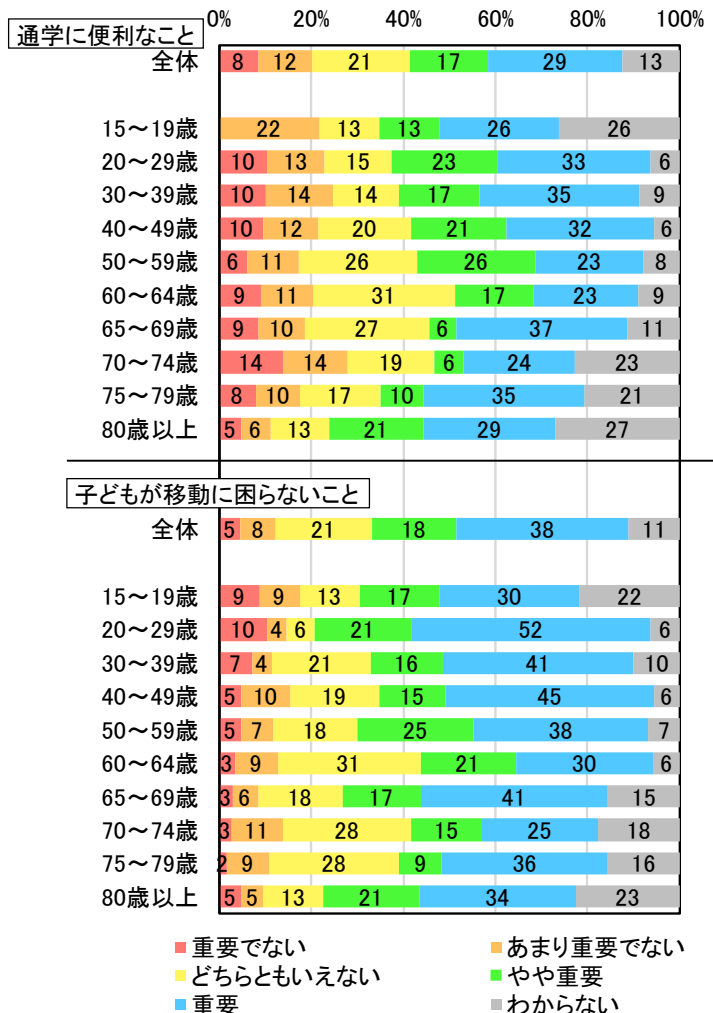
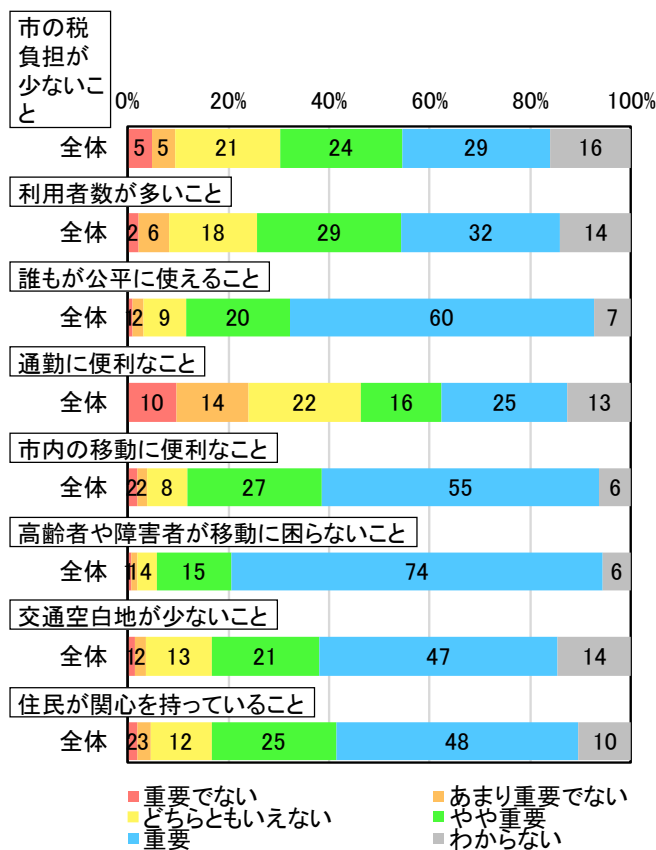
- 「利用する必要がなかった」が67%と最も多く、次いで「自宅や目的地が運行エリアに含まれていない」が23%となっている。
- 上位2つの、そもそもmobiを利用しない・mobiを利用できる環境にない理由を除くと、「利用方法がわからなかった」が14%と最も多く、次いで「運賃が高い」が9%となっている。



デマンド型交通に関する考え方

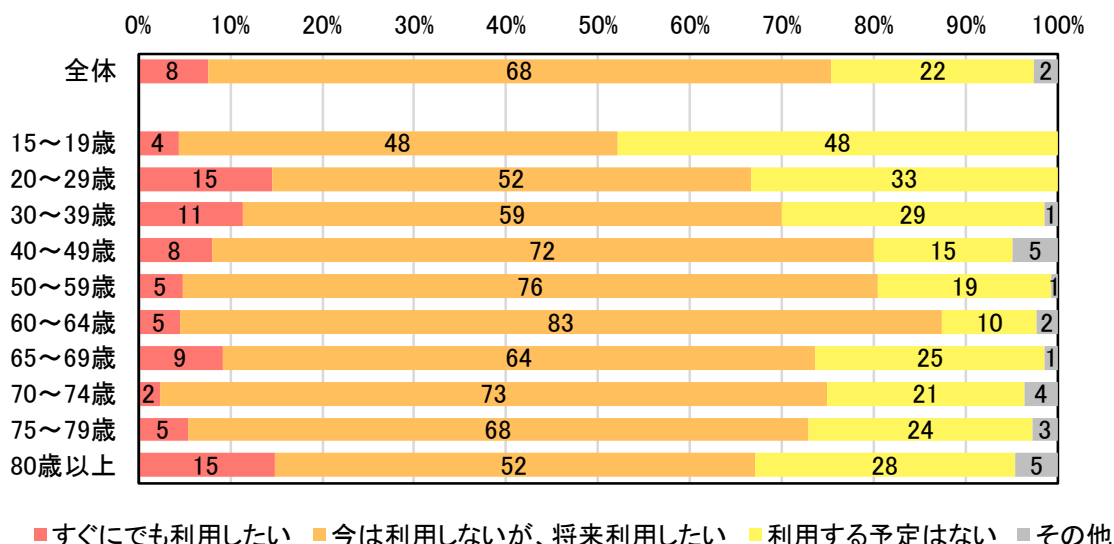
デマンド型交通に対する重要度

- 「高齢者や障害者が移動に困らないこと」が、「重要」と答えた方は74%となっており、他の項目の「重要」の割合と比較して高い。
- 親世代(20代～50代)で、「通学に便利なこと」や「子どもが移動に困らないこと」が「重要」または「やや重要」と答えた割合が、他世代と比較して高い。



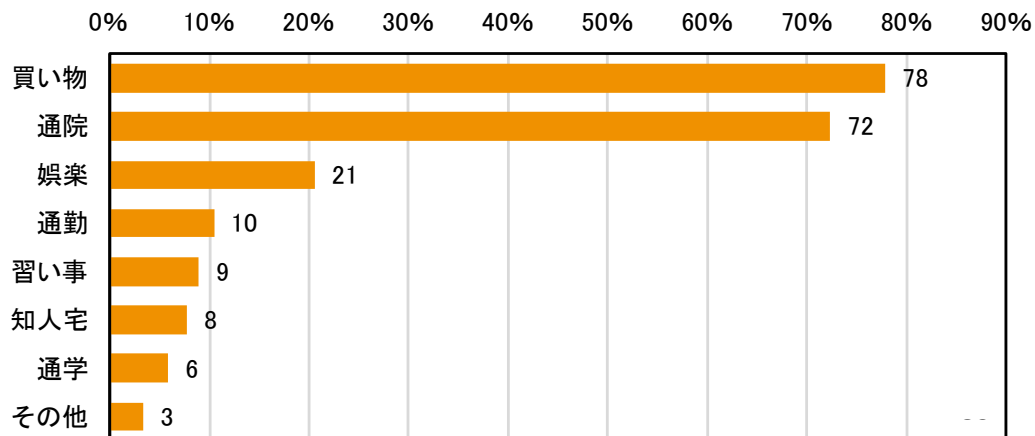
今後の利用意向

- 全体では、「すぐにでも利用したい」は8%にとどまっている。
- 20歳代と80歳以上で「すぐにでも利用したい」の割合が他の年代と比較して高い。



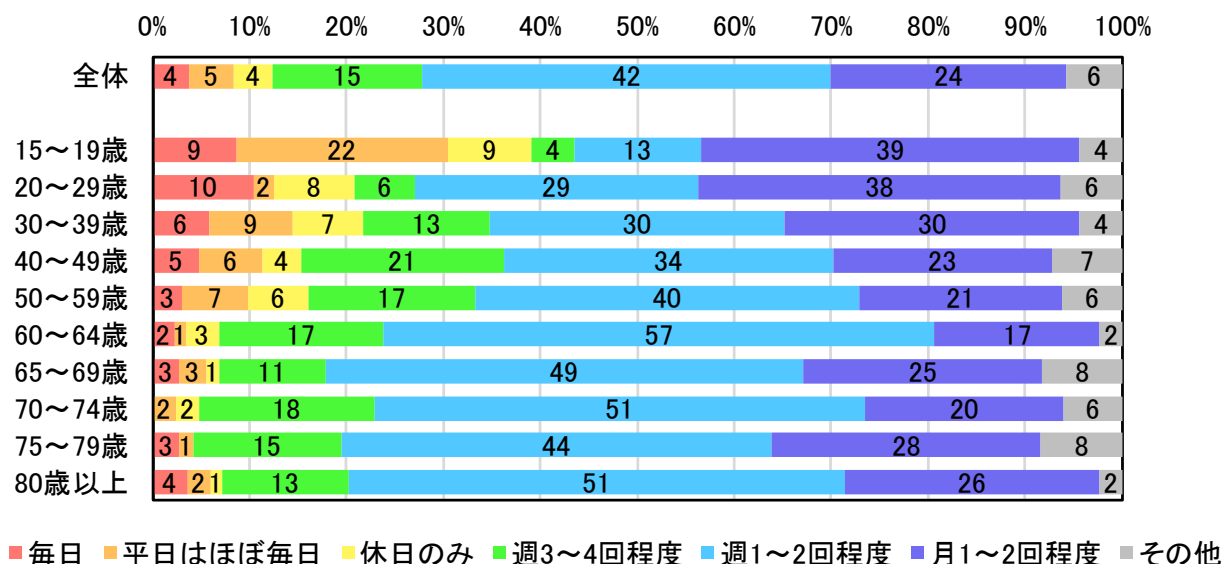
デマンド交通を利用する目的

- 「買い物」が78%、「通院」が72%となっており、この二つが突出して高い。



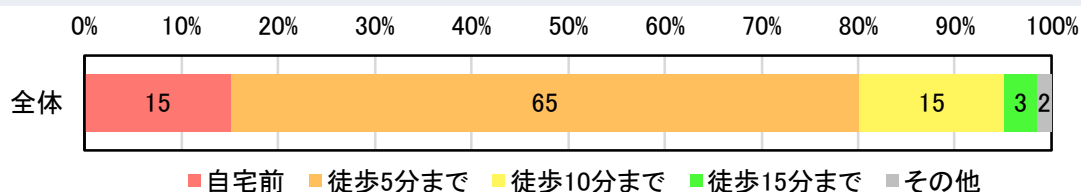
デマンド交通を利用する頻度

- 全体では、「週1～2回程度」が42%と最も多く、次いで「月1～2回程度」が24%となっている。
- 若い年代ほど「毎日」+「平日はほぼ毎日」の割合が高くなっており、10歳代では31%と最も高い。



乗降場所までの距離

- 「徒歩5分まで」が65%を占め、最も多くなっている。



運賃

- 「300円」が39%と最も多く、次いで「500円」が26%となっている。

